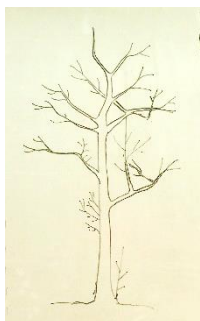


「春夏に行う身近な木の手入れ方法②」開催レポート

令和4年6月17日（足立区役所・中央公園）

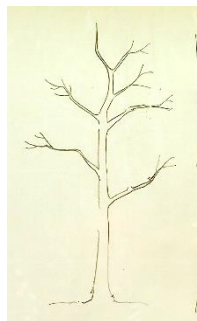
講習

前半はテキストを使って講義を行いました。
切った方が良い枝の見極め方や、切り方について説明していただきました。
また、道具の種類と使い方もご紹介いただきました。



Before

徒長枝や平行枝など不要な枝は切り落とします。



After



枝の整え方や透かし剪定を実演していただきました。



講師 岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」であり「樹木医」としても活躍する造園技術者。平成28年頃から、足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。



ブランチカラー（枝の付け根のふくらみ部分）を残さずに太い枝を切ると、切り口がふさがらず、腐朽する場合があります。

太い枝や腐朽菌に侵されやすい樹木を切った場合は、腐朽菌が入るのを防いだり、傷の回復を促すために、切り口に癒合剤などを塗り防腐処理をします。



実習

後半は受講者の方々に剪定実習をしていただきました。



正しい剪定方法で切った切り口が自然に治癒したことを確認しました。



隣接する中央公園でオオムラサキツツジの剪定を体験しました。

参加者の声

気になっていた木の剪定方法が聞けた。
（70代 初めての参加）

楽しく刈込みが出来ました。
さっそく家の木もやりたいです。（80代 初めての参加）

参加者の質問に一つひとつわかりやすく説明してくださりとて良かった。
（70代 初めて参加）